

## 工法研究

# 水利施設保全管理補修部門 中央研修会 報告

(一社) 農業土木事業協会

(一社) 農業土木事業協会 水利施設保全管理補修部門では、水利施設の保全補修分野における既存技術の効率的かつ効果的な利活用に加え、新技術・工法の積極的な導入による質の高い保全補修を行うことが、会員及び補修工事を行う施工業者の皆様にとって重要と考え、毎年、中央研修会を行っております。

今回は、令和元年10月4日(金)に開催し、協会会員及び農業水利施設機能総合診断士等から約120名の参加者がありました。

本稿では、発表のあった7工法の概要を報告します。

● 超高強度繊維補強コンクリートパネルによる頭首工長寿命化対策について

(株)ホクコン

● 大規模沈砂池における鉄筋補強ポリマーセメントモルタルを用いた耐震補強等について

(株)エム・ティー産業

● ESCON (超高強度合成繊維補強コンクリート) ブロックについて

(株)エスイー

● オープンピット工法 (開削型自走式土留め工法) について

インフラテック(株)

● 水路トンネルの補修技術について

日本基礎技術(株)

● 中小口径を対象としたパイプ・イン・パイプ工法 (L-PIP 工法) について

(株)栗本鐵工所

● 管路更生工法 インシチュフォーム工法について

日鉄パイプライン&エンジニアリング(株)